

5億円超す減収に市独自支援策求める 佐波伊勢崎の「ゴロピカリ」全量規格外に



稲が稔る時期に高温が続いたため、中毛地区の作況指数は平年の70%にとどまりました。

伊勢崎市内の稲作の6割以上を占めるゴロピカリは、全量が規格外となりました。米価の下落もあり、5億円を超す減収となる見込みです。

日本共産党市議団は、11月1日、五十嵐市長に対し「コメの品質低下に伴う対策についての要請書」を提出。被害農家の救済と規格外のコメの販路の確保など、支援策を求めました。

規格外米の市職員への販売や、農業まつりや産業祭での市民への販売などを行うほか、市独自の支援策の検討も行われています。

「TPPに参加するな」 の意見書可決！

「農業と地域経済守れ」の声反映

TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）への参加は日本農業をつぶすだけでなく、地域経済や雇用を破壊し、国土も荒らす「亡国」の選択です。

伊勢崎市議会では日本共産党市議団、伊勢崎クラブの2会派が議会運営委員会に「TPP交渉参加反対に関する意見書」を提案。全議員の賛成で、可決されました。

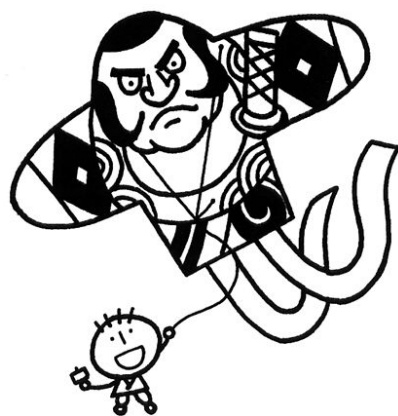
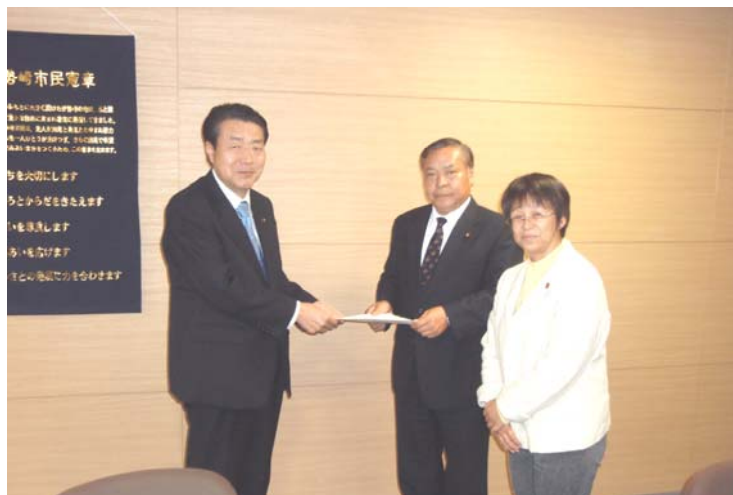
党市議団は、議会に先立ちJA佐波伊勢崎幹部と懇談。「TPP参加を許さない世論作りで協力を」と、語り合いました。

2011年度予算要望書

党市議団・地区委員会が提出

日本共産党市議団と党地区委員会は、11月22日、「2011年度予算編成に当たっての重点要望書」を提出しました。北島市議・長谷田市議は、応対した五十嵐清隆市長、副市長、教育長、総務部長、財政部長に14の要請項目についての説明を行い、不況であえぐ市民生活を守る対策を強めるよう要請しました。

五十嵐市長に要望書を手渡す市議団



日本共産党市議団主催

無料生活法律相談会

毎月第4月曜日午後6時

市議会議員と弁護士が相談に応じます。

生活保護、離婚、交通事故、相続など悩み事等、何でもお気軽にご相談下さい。

お申し込みは、党市議または

共産党地区事務所25-4854まで。